

behind the seen: secrets of artistic creation

アーティストはどのように
個々の作品を創作するのか？



ケース・スタディ
篠原猛史
Takeshi Shinohara

			<p>《White Noise N°5-000》 2008年、個人蔵</p> <p>撮影：本田晋一</p>
			<p>《White Noise N°5-009》 2008年、個人蔵</p> <p>撮影：本田晋一</p>

behind the seen アート創作の舞台裏

アーティストはどのように考え、発想し、作品を作り上げていくのか？ 認知心理学者がみつけた創作の秘密
2008.10/11[土]—12/7[日] 東京大学 駒場博物館

開館時間=10:00—18:00(入館は17:30まで)
休館日=毎週火曜日 入館無料

主催:「behind the seen アート創作の舞台裏」実行委員会、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 美術博物館
共催:東京大学大学院情報学環・学際情報学府、東京大学教養学部附属教養教育開発機構 協賛:ココロ株式会社、財団法人マツダ財団、シャープ株式会社



		<p>ケース・スタディ 小川信治 Shinji Ogawa</p>
<p>《バス停留所》1996年、個人蔵</p>	<p>《Westminster Bridge》2001年、豊田市美術館</p>	
		<p>アーティストはどのように 作品を展開させていくのか？</p>
<p>《蒲原》2003年、個人蔵</p>	<p>《Chain World》1999年</p>	

behind the seen: secrets of artistic creation